

令和3年度 静岡福祉文化を考える会事業計画（案）

活動テーマ：地域を家庭化する“ご近所福祉”を創る支え合いを探る

阪神淡路大震災発生一年後、「災害と福祉文化」を追求する「地方発福祉文化の創造」に取り組む市民活動団体として結成（平成8年9月）して26年目を迎えた。 結成当初から、「3つの活動基調」を掲げてきた。

- *第一「専門性と市民性の融合の関わり」
- *第二「公開型地域総合型学習の企画と実践」
- *第三「課題解決の向けたプロセス重視」

この「活動基調」をもとに、さらに、次の「3つの柱立て」をもとに25年間活動を展開してきた。

*第1の柱立て「啓発学習事業」

「静岡発(地方発)福祉文化の創造」をめざして、県内各地の実践活動に学び「課題提起」をして「地域総合型啓発学習」に取り組んできた。

*第2の柱立て「調査研究事業」

県民の協力により、一貫して、その時代の地域社会問題をテーマに調査研究活動に取り組み、その結果をその都度県民と共に地域総合型学習をし、課題解決に向けた議論を深めてきた。

*第3の柱立て「実践地区活動事業」

広く県内各地の実践事例を共有し合い「地域診断」のもとに、確かな地域性を把握し、さまざまな実践活動を展開し、「協働」による福祉問題解決のプロセスの重要性を確認してきた。

いま、厳しい社会情勢に直面し、改めて、いかにして、つながる・支え合う地域社会づくりが出来るか問われる時期でもある。 本会が調査研究事業で追求してきた「地域コミュニティ」は、年々、地域社会全体の個人志向化・希薄化と共に、福祉コミュニティ組織運営の難しさを感じている。

今こそ、「当たり前のことが当たり前にできる社会」「助け合い、助けられる地域社会」を再構築するために、本会のこれまでのプロセス重視から、令和3年度の本会活動テーマを「地域を家庭化する“ご近所福祉”を創る支え合いを探る」を掲げる。

そして、「地域環境」を再構築するために、地域住民一人ひとりが、住み慣れた生活圏域で「ご近所のささえあい」に向けた新たな取り組みを検証する。

本会では、これまでに7年間静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」に取り組んだ。

そして、「ホッとする私のご近所福祉を創る」をテーマに、平成25年度から平成27年度の3年間、若者と共に「生活圏域におけるささえあい」（ご近所福祉）を議論し合い、福祉文化実践活動を展開し、「若者発 ご近所福祉かるた」（赤い羽根共同募金助成事業・鈴与マッチングギフト助成事業）を企画製作し、県内各地に、具体的な「住民福祉教育」の推進に役立てる「ご近所福祉を学ぶ」教材として有効活用した。

「若者発 ご近所福祉かるた」が誕生して7年目を迎えた今、いまこそ「ご近所福祉の復活」を願い、これまでの成果物の有効活用度合いを把握するとともに、「焼津福祉文化共創研究会」との協働により、新たに「共創社会実現研究会」を立ち上げ、さらに、様々な領域における「ご近所福祉の見える化・わかる化」の取り組みが拡大できる環境を開拓し、「ご近所福祉かるた利用の手引き」の作成を通じて、より実践的・体験的地域活動を呼びかける。

1. 令和3年度全体会（総会／第1回公開型研修会）の開催

*日時 令和3年5月22日（日） 13:30～16:00

- *会場 静岡市清水区追分3-5-17 「寄ってつ亭」
- *内容 研修テーマ:「ご近所福祉その意識と実態」からの課題提起を探る
 - (1)基調報告①「この2020年を振り返る 26年目への挑戦・ご近所福祉の意義」
 - (2)基調報告②「若者発 ご近所福祉かるたの誕生」
 - (3)円卓トーク「ご近所福祉を創り出すコツ」

2. 委員会の開催

- *実務型委員会構成を基に、[代表][副代表][事務局長・次長][会計][監事][委員]が一丸となって、活動の進捗状況管理と検証に努める。
- *原則、「公開型研修会」開催日の前段に開催する。
- *広く会員や一般社会人にも参加を呼び掛け「公開型学習会」として位置付ける。
- *必要に応じて、臨時の委員会を開催する。
- *2021度の委員会開催は、次の通り開催する。
 - ・第1回 4月24日(土) 13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」内
 - ・第2回 5月22日(土) 10:00 静岡市清水区「寄ってつ亭」内
 - ・第3回 7月 3日(土) 13:30 静岡市清水区「寄ってつ亭」内
 - ・第4回 9月11日(土) 10:00 静岡市清水区「寄ってつ亭」内
 - ・第5回 11月27日(土) 10:00 静岡市清水区「寄ってつ亭」内
 - ・第6回 2月26日(土) 10:00 静岡市清水区「寄ってつ亭」内

3. 研修・討議活動

(1)公開型学習会の開催

「定例委員会」をこれにあて、会員相互の情報交換の場及び日常的な実践活動につなげる。一般社会人参加も呼び掛ける。

(2)公開型研修会の開催

- *第1回 令和3年5月22日(日) 13:30~16:00
 - ・会場 静岡市清水区追分3-5-17 「寄ってつ亭」
 - ・内容 研修テーマ:「ご近所福祉その意識と実態」からの課題提起を探る
 - (1)基調報告①「この2020年を振り返る 26年目への挑戦・ご近所福祉の意義」
 - (2)基調報告②「若者発 ご近所福祉かるたの誕生」
 - (3)円卓トーク「ご近所福祉を創り出すコツ」
- *第2回 9月11日(土) 13:30~16:00 静岡市清水区「寄ってつ亭」内
研修テーマ『住民福祉教育の成果とご近所福祉かるたの活用』
 - * 住民主体のご近所福祉構築に向けた「ご近所福祉かるた」の有効活用を探る
- *第3回 2月26日(土) 13:30~16:00 静岡市清水区「寄ってつ亭」内
研修テーマ『地域を家庭化する“ご近所福祉”を創る支え合いを探る』
 - * 各領域におかる「ご近所福祉かるた」の活用事例に学ぶ

(3) 「第20回静岡県福祉文化研究セミナー」の開催

*日 時 11月27日(土) 13:30~16:00

*会 場 静岡市清水区追分 「寄ってつ亭」

*テーマ 『ご近所福祉と福祉文化』

①基調報告①「福祉文化実践26年のプロセスとセミナーの意義」

③円卓トーク「ご近所福祉を描く」

*地域の事例をもとに、ささえあう仕組みを考え、そして描く

4. 調査研究活動

(1) テーマ『私にとって“福祉”とは何か、その意識と実態調査』の実施

*ねらい：

「静岡福祉文化を考える会」は、この25年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした「調査研究活動」に取り組んでいる。また、その分析結果を、県内各方面での研修会や本会の公開型研修会などで公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に努めてきた。

これまでの調査研究活動を振り返ると

- 平成09年度 ①「共働きに関する調査」
- 平成10年度 ②「私たちにとって、地域とは何かーその1ー意識と事態調査」
- 平成11年度 ③「私たちにとって、家族とは何か調査」
- 平成12年度 ④「父親に関する調査」
- 平成13年度 ⑤「ボランティア活動実践者意識調査」
- 平成14年度 ⑥「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」
- 平成15年度 ⑦「青少年の生きがいに関する調査」
- 平成16年度 ⑧「地域とは何かーその2ー意識と事態調査」
- 平成17年度 ⑨「子どもと社会環境に関する調査」(継続調査)
- 平成18年度 ⑩「子どもと社会環境に関する調査」(総括)
- 平成19年度 ⑪「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」
- 平成20年度 ⑫「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」(静岡県共同募金会助成事業)
⑬「日常生活と福祉情報に関する意識調査」(静岡県委託事業)
- 平成21年度 ⑭「長寿社会に関する県民意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成22年度 ⑮「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における支え合いとはなにか本音に迫る調査」(静岡県委託事業)
- 平成23年度 ⑯「地域と私の居場所その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成24年度 ⑰「家族ってなに その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成25年度 ⑱「長寿者とつながる ホッとするご近所づくりその意識と実態調査」
(静岡県委託事業)
- 平成26年度 ⑲「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成27年度 ⑳「若者の地域参加その意識と実態調査」
- 平成28年度 ㉑「ご近所福祉その意識と実態調査」
- 平成29年度 ㉒「居場所ってなに その意識と実態調査」
- 平成30年度 ㉓「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」(単純集計)

- 令和元年度 「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」
(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 令和元年度 ②4「256名の子どもたちに聞きました。ホッとする地域ですか」
(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 令和2年度 ②5「ご近所福祉その意識と実態調査」

と、「25のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。通算26回目となる今年度は、活動テーマ:「地域を家庭化する“ご近所福祉”を創る支え合いを探る」に基づき、児童(小学生5・6年生)対象に「私にとって“福祉”とは何か、その意識と実態調査」に取り組む。

- a 調査項目は、(1)基本属性 (2)生活状況 (3)家庭・家族/地域に関すること (4)福祉に関する意識に関すること (5) 福祉に関する実態に関すること (6)福祉社会への期待 (7)自由意見(提言)の7項目とする。細部は「調査部会」で具体化する。
- b 調査の展開:(1)調査実施期間(8月～9月)、(2)入力期間(10月～11月)、(3)分析・考察(12月～1月)、(4)公表(3月)を予定
- c 対象 静岡県内に居住する児童(小学生5・6年生)
- d 回収目標 300名程度
- e 調査依頼／配布方法 会員(現在21名)、地域実践者、関係団体・施設、企業

(2)「共創社会実現研究会」の設置と運営

①設置目的

「活動テーマ」をもとに、本会委員会と並行して「共創社会実現研究会」(県内実践活動者として外部から3名委嘱・4回程度開催)を設置し、実践活動からご近所福祉について、広く意見を求め、具体的な課題を基に、これから地域づくりへの提言をまとめる。

また、「若者発 ご近所福祉かるた」の有効活用とともに、活用方法について研究協議をする。

- ②議論した内容をもとに「若者発 ご近所福祉かるた利用の手引き書」としてまとめ、「若者発ご近所福祉かるた」配布団体・グループ等に配布。

マスコミ等への情報提供を通じて、広く県民に広報啓発をする。

(3)「若者発 ご近所福祉かるた利用の手引き書」の作成

- ①仕様 A4版 カラー及び単色 20P以内 200部

②作成過程 本会委員会及び「共創社会実現研究会」の設置、「焼津福祉文化共創研究会」との協働により、5月から11月まで研究協議を継続し、その後編集執筆作業に入り、1月配布及び検証。

- ③配布領域 「若者発ご近所福祉かるた」配布団体・グループ等(学校、地域実践領域、学童保育、社会教育、さわやかクラブ、コミュニティ実践団体等)

5. 広報・啓発活動

(1)「機関紙発行計画」に基づき『OUR LIFE』の発行

*年5回 A4版 4ページ構成 上質紙印刷 500部発行

*「地方発福祉文化の創造」論議や実践活動を会員及び関係方面に具体的に情報発信する。

各号共通記事「編集後記」「ご近所福祉コーナー」「事務局日誌掲見」

- 第134号(05/15)『25年の節目から、新たな静岡発福祉文化の創造を探る』
- 第135号(07/15)『地域を家庭化する“ご近所福祉”』

- 第136号(09/15)『若者発 ご近所福祉かるたの原点と地域総合型学習』
 - 第137号(12/15)『福祉文化が根ずく地域社会とは 第20回セミナーを終えて』
 - 第138号(03/15)『26年間の福祉文化実践のプロセス』
- (2) 日本福祉文化学会HPと本会ブログのリンクによる「地方発 福祉文化の創造」の発信
- (3) 「焼津福祉文化共創研究会」ブログとの連動による「福祉文化の創造」の発信
- (4) マスコミ、関係機関・団体への情報提供

6. 実践活動「若者発 ご近所福祉かるた」増刷及び有効活用による「ご近所福祉」の検証

7年間の県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」から浮き彫りになった“ご近所福祉の再構築”を若者の視点から論議を深め、提言された読み札を精査し、「かるた」の創作に向けて取り組み、平成27年度に「若者発 ご近所福祉かるた」を100セット作成し、今年度7年目を迎えた。また平成28年度に作成した「若者発 ご近所福祉かるた 拡大版」2セットを有効活用して6年目になる。

幼児から大人まで、身近な地域の実践活動の場や行事の中で、「地域総合型学習」として楽しみながら活用し、安心して暮らし合う生活圏域づくりをさらにめざすため、関係機関・団体との「協働」により、これまでに個人、地域実践者、施設・グループ・サロン等に配布・設置した「かるた」の活用状況を把握するとともに、今年度、新たに「かるた」を100セット増刷し、新規活用団体・グループに提供し、「かるた」の活用範囲を広げ、地域社会に「ご近所福祉」を課題提起し、検証を深める。

7. 現場視察研修による検証

県内の「ご近所のささえあい活動」(主に「かるた」配布先の活動)の実践地区を計画的(東部・中部・西部)に訪問し、ご近所福祉の検証に努め、これから地域社会づくりへの提言につなげる。

8. コミュニティ組織との連携

コミュニティ組織との連携に努め、「かるた」の配布地域の開拓とともに「ご近所」について、広く地域住民の意見を把握することに努める。

9. 関係・団体との協働・連携

- (1)「静岡県共同募金会」との連携(2021年度共同募金助成事業に関する定期的な状況報告実施)
 - (2)「焼津福祉文化共創研究会」との協働による諸活動の展開と、小地域福祉活動の連携による「近助」の取り組みの現場に学ぶ実践活動を県域に共有していく
 - (3)「静岡県コミュニティづくり推進協議会」との連携(「かるた」配布団体・グループ推薦と事業関連情報提供)
 - (4)「日本福祉文化学会」への情報提供
 - (5)「関連大学・専門学校」への情報提供
 - (6)「静岡市ボランティア連絡協議会」との連絡調整及び情報提供
 - (7)「ふじのくに未来財団」への情報提供
 - (8)県内外の関連研究会等と「近助」に関する情報共有
 - (9)福祉コミュニティ組織における実践的取り組みをしている地域の把握と情報交換
- (10)「若者発 ご近所福祉かるた」配布団体・グループ等との日常的連携(施設、NPO法人、Vグループ)
- (11)「静岡県社会福祉協議会及び市町社協」との連携(情報提供)
- (12)「あしたの日本を創る協会」への情報提供

2021年度 焼津福祉文化共創研究会 活動計画 活動テーマ:「港地域をつなぐ・ささえあう“ご近所福祉”を創る」

2021.4.1 現在